

令和4年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「最新現代社会 新訂版」(実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・現代社会の諸問題を自らの暮らしに関わる問題として捉え、現実の政治・経済・社会への関心を深めることで、明日の社会を担う主権者としての自覚を持つ。
- ・現実社会の動きに対して、「なぜ」「これからどうなる」、そして「どうあるべきか」「何をすべきか」ということを考える。
- ・1年次の現代社会において、概略しか学習できなかった分野(地球環境問題や青年期と自己形成、国際関係など)を中心に学習する。

2 学習の到達目標

- ・現代社会の諸課題を考えるための基礎的な社会科学の知識を身につけさせる。
- ・時事問題や社会現象を多様な角度から理解し、自己との関わりを踏まえて考えさせる。
- ・現代社会の中で自分自身がいかにかに生きるべきかという倫理的な課題を思考する力を養う。
- ・国際的な視点も踏まえて我が国の政治や経済について考えることのできる、良識ある公民としての資質を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	複雑化し、変化の激しい現代社会にあって、自らがその構成員であり、一人ひとりの行動や生き方そのものが、社会を成り立たせ動かしていることの自覚と責任を認識する。	現代社会の諸課題についてはグローバル化の観点も踏まえながら、また、人間の生き方については、先人の思索などを踏まえながら、公正に判断し、その思考過程や結果を表現している。	教科書の諸資料を適切に読み取り、効果的に活用している。	現代社会の成り立ちや基本的な制度・仕組みを、歴史的、思想的、国際的観点も踏まえながら理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	ワークシート 観察等	定期考査 ワークシート 観察等	定期考査 ワークシート 観察等	定期考査 ワークシート 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・破壊される地球 ・地球環境問題への取り組み ・かぎりある資源とエネルギー問題 ・人口問題と食料・水資源 ・資源循環型社会の形成 	○			○	a: 現代社会が抱える諸課題について、地球規模の観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b: 現代社会が抱える諸課題について、地球規模の観点と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 現代社会が抱える諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 現代社会が抱える諸課題について、国内外の政治・経済の動きと関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 観察等
	青年期と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 	○	○	○	○		

2学期	人間としてよく生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学と人間 ・宗教と人間 ・科学と人間 ・自由と幸福 ・人間性の回復と主体性の確立 ・他者の尊重 	○		○	○	<p>a: 「人間としてよく生きる」という課題について、哲学や宗教、科学的思考方法など先人の思索と関連付けて意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 人間の存在と世界の有り様、自由や幸福などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 哲学や宗教、科学的思考方法などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d: 「人間としてよく生きる」という課題について、現代社会の諸課題と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 観察等
	国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の特質 ・国際連合と国際協力 ・第二次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・国際平和と日本の役割 	○		○	○	<p>a: 第二次世界大戦後の国際政治について、今日まで続く課題・問題に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 第二次世界大戦後の国際政治について、現代の世界の政治・経済の動向と関連付けて、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 第二次世界大戦後の国際政治の問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d: 第二次世界大戦後の国際政治についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 観察等

3 学期	国際 経済 の 動 向	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際 経済 ・今日の国際経済 ・発展途上国の諸課題 ・経済協力と日本の役割 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>a: 日本経済も大きく影響を受 ける国際経済の動向につい て、関心を高め意欲的に追究 しようとしている。</p> <p>b: グローバル化が進む国際経 済について、日本経済の動向 と関連付けて多角的に考察 し、その過程や結果を適切に 表現している。</p> <p>c: グローバル化が進む国際経 済に関する諸資料を収集し、 有用な情報を選択して読み取 ったり図表などにまとめたりし ている。</p> <p>d: グローバル化が進む国際経 済について、第二次世界大戦 後の自由貿易体制の進展と新 興国の成長、発展途上国の抱 える諸課題と日本経済の動向 などと関連付けて理解し、その 知識を身に付けている。</p>	定期 考 査 ワ ー ク シ ー ト 観 察 等
---------	-------------------------	---	----------------------------	--------------------	----------------------------	--	---

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。